

## 感染症情報 6月25日～7月1日

府下小児科198医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1042例(堺市	41例)
②溶連菌感染症	574例(堺市	56例)
③咽頭結膜熱	181例(堺市	14例)
④手足口病	155例(堺市	2例)
⑤ヘルパンギーナ	151例(堺市	1例)

府下インフルエンザ定点304医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	3例(堺市	0例)
---------	-------	-----

が報告された。

感染症報告数は前週比1.7%増の2,470件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナの順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より12%減、堺市では前週より28%減であった。溶連菌感染症は府下で前週より2%増、堺市で前週50例→今回56例で12%増であった。咽頭結膜熱は府下で前週比16%増、堺市で前週15例→今回14例であった。この14例のうち5例が当科であった。手足口病は府下で前週より63%増、堺市では前週が0例で、今回が2例であった。ヘルパンギーナは府下で前週より101%増、堺市で4例→1例であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。